



「田んぼの学校」生きもの調査を実施

平成21年7月3日(金)、いわき市立夏井小学校において「平成21年度田んぼの学校」「生きもの調査」を実施しました。

「田んぼの学校」は、『「ふくしまの農育」推進事業』の一環として、一年間を通して水稻の作付けから収穫までの農作業等を体験する環境教育事業で、今年度は、主に5年生児童24名を対象に実施しています。



今回の調査は、田んぼの表層の中にどのくらいのイトミミズがいるかを調べる「田んぼのトロトロ層調査」です。

児童らは、採取した土砂を洗濯ネットに入れ洗浄した後、土壌の中を一生懸命調査し、体長10mmに満たない小さなイトミミズを見つけては歓声を上げていました。

調査の結果、約5aの学習田には約43万匹のイトミミズが生息している事が確認できました。

また、ミジンコやゾウリムシなどの生きものも見つかり、児童らは、田んぼの中には小さな生きものがたくさんいることに驚き、感動していたようです。



マーケティング研修会が開催されました。



平成21年7月3日(金)～4日(土)、いわき市地域担い手育成総合支援協議会主催による「平成21年度マーケティング研修会」が開催され、市内の認定農業者、直売所関係者等約30名が参加しました。

農学博士及びマーケティングプロデューサーである平岡豊氏を講師として、1日目はいわき新舞子ハイツにおいて「人が集まり、商品が売

れるためのマーケティング」と題して講演、2日目は市内の直売所2ヶ所で現地指導が行われました。

平岡氏からは、全国各地の直売所を指導された豊富な経験に基づき、顧客の購買力を高めるためのポイントなど実践的なアドバイスがあり、参加者は熱心に聞き入るとともに、活発な質疑応答も行われました。

今後直売に際して、積極的な活動の展開が期待されます。



千軒平溜池施設見学・学習会を開催

7月4日(土)、「千軒平溜池の施設見学・学習会」を開催しました。

この会は、施設管理強化月間の取組みとして、「施設管理方部協議会」(事務局：いわき農林事務所)の主催で、農業用水利施設についての理解を深めてもらうことを目的としています。

千軒平溜池は、四倉町八茎地内に位置し、満水面積約9.5ha、貯水量865,414m³の規模を有し、主に四倉町の水田約570haに用水を供給する農業用ため池です。

当日は、袖玉山構造改善センターに参加者20名が集合し、千軒平溜池土地改良区の職員から、千軒平溜池の歴史や土地改良区の役割等について説明が行われました。



その後、会場を移動し、ため池と水門操作室の見学を行いました。

ため池を見学した参加者は、想像以上の大きさに驚きの声を上げ、その後、土地改良区職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、水門操作室では、小学生が水門のハンドル操作を行うなど、普段できない貴重な体験に目を輝かせ、農業用施設や土地改良区の役割等の重要性について、認識を新たにしていました。

小学校2校で出前講座を開催

平成21年7月6日(月)、いわき市立渡辺小学校の5年生16名を対象に、「日本の食料自給率」について出前講座を行いました。

プロジェクターを使って、「それぞれの食材が日本でどのくらい生産されているのか」「外国から多く輸入している食材は何か」「もしも国内産のみで必要なカロリーを供給しようとした場合、どのような食事メニューになるのか」などについて説明を行いました。

その後、児童たちに説明を聞いてわかったことなどをまとめてもらったところ、『半分以上の食べ物が外国から輸入されているなんて知らなかった』『しょうゆの自給率の低さに驚いた』『給食を残さず食べるようにしたい』などの感想が寄せられました。

今回の出前講座が、児童のみならず各家庭の日々の食生活を見直すきっかけになればと思います。

さらに、平成21年7月10日(金)、いわき市立田人第一小学校の5年生10名を対象に、「ふくしまの農業と農林水産物」について出前講座を行いました。

はじめに、資料のグラフを見ながら、就業人口や農地の変遷、耕作放棄地など福島県の農業の現状や、現在、県が取り組んでいる集落営農やオリジナル品種、有機栽培などの環境と共生する農業について、説明を行い



ました。

その後、いわき市の主な農林水産物について、パンフレットとシールを使った学習を行いました。シールという児童たちが好きなアイテムを使ったことにより、熱心に学習に取り組んでいました。



福島県生活研究グループ連絡協議会全体研修会が開催されました

平成21年7月8日(水)、いわき市三和町などにおいて

「福島県生活研究グループ連絡協議会全体研修会」が開催され、県内の生活研究グループ員約70名が参加しました。



この研修会は、グループ員の情報交換や知識の向上を図ることを目的に、毎年開催されています。

今年は、いわき地区における女性起業事例として、農家レストラン「柏の里」、ブルーベリー観光農園「大和田自然農園」の活動紹介と現地研修を行いました。



長年の農業実践の中で培った技術や女性ならではの感性を活かし、いきいきとアグリビジネスに取り組んでいる事例を視察しながら、参加者の間で活発な情報交換が行われました。



森林環境基金事業タウンミーティングを開催

平成21年7月24日(金)、「森林環境基金事業タウンミーティング」が、県内のトップをきって、県いわき合同庁舎南分庁舎で開催されました。

タウンミーティングは、平成18年度から始まった森林環境基金事業が平成22年度に終期を迎えることから、今後のあり方等について広



く県民の意見を聞くことを目的として、県内7方部での開催を予定しています。
当日は、市民56名の参加がありました。

参加者からは「平成23年度以降も森林環境基金事業は継続すべきである」、「私有林の森林整備は未だ不十分」、「長期的な視点に立った事業の展開が必要」、「県と市の事業費配分割合の検討を」、「森林環境税の徴収の仕方に工夫が必要」などの活発な意見が出されました。

森林環境税は、福島県が平成18年度から導入し、これを財源として水源区域内の間伐や、暮らしに間伐材を活かす事業、森林環境学習の推進など「県民一人ひとりが参画する新たな森林づくり」に活かされており、今後も広く県民の理解と協力を得ながら、取り組みを進めていくこととしています。



JAいわき市いちご部会第1支部40周年式典及び出荷反省会議が開催されました。

平成21年7月28日(火)、かんぼの宿いわきにおいて、「JAいわき市いちご部会第1支部40周年式典及び出荷反省会議」が開催され、『いわきいちご』の40年の歴史を振り返り、今後の発展を確認しました。

いちごは、いわき市を代表する農産物ですが、いちご栽培が始まって以来、今日まで続く生産者と関係機関の努力により、現在のブランドが成立しています。

いわき農林事務所としては、園芸特産産地育成プロジェクトにおいて、いちごを最重点品目として推進しています。

今後も『いわきいちご』の栽培面積、販売額の増加等、産地の活性化をめざして支援を行ってまいります。



いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ **田んぼの学校**
期日 8月28日(金) 生きもの調査
9月2日(水) いなご取り
9月30日(水) 稲刈り 会場：全て夏井小学校学習田
 - ◎ **女性農業者育成セミナー**
期日 8月28日(金) 会場：田人町田人公民館
 - ◎ **いわき地区食の安全・安心アカデミー(生産者コース)**
期日 9月2日(水) 食品の安全・安心に向けた取り組み
9月10日(木) 正しい食品表示 会場：県いわき合同庁舎西分庁舎
 - ◎ **鳥獣被害防止対策研修会**
期日 9月4日(金) 会場：遠野町上遠野公民館
 - ◎ **アスパラガス現地検討会**
期日 9月7日(月) 会場：好間町地内(詳細は別途)
 - ◎ **米飯給食モニター校実践事業第1回「生産者と児童との交流会」及び「試食会」**
期日 9月8日(火) 会場：いわき市立川部小学校
 - ◎ **田んぼの学校関連(愛谷堰土地改良区)**
期日 9月10日(木) 鱈魚取り会
9月29日(火) 愛谷江筋探検 会場：愛谷江筋
- ※日程等の詳細は、後日ホームページ、広報紙等でお知らせします。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp